

1-4-21. 奄美群島における魚介類の高付加価値出荷の取り組みの成果と課題

鳥居 享司

The Role of Fisheries Cooperatives Association in Improving Fishery Management on Amami Islands

TORII Takashi

鹿児島大学学術研究院農水産獣医学域水産学系

Faculty of Fisheries, Kagoshima University

要旨

離島漁業は漁獲物の販売・出荷に条件不利を抱えており、解決できない課題としてみなされてきた。しかし近年、科学技術の発展により新たな保蔵技術が開発され、出荷にかかる条件不利が緩和されてようとしている。

本研究では、新たな保蔵技術の導入による経営振興を目指す鹿児島県奄美漁協笠利地区の取り組みを通じて、高鮮度出荷による漁業経営改善の現段階について分析を加えた。聞き取り調査と統計分析の結果、鮮度保持と量販店への直接出荷の実現によって、平均単価は 876 円/kg であり、取り組み開始前の 2013 年に比べて約 16% 上昇していることが明らかになった。取り組みに参加する漁業者の漁獲金額は 10% から 50% ほど上昇し、経営が好調に推移するようになったことから、漁業への新規着業もみられるようになった。

取り組みを主導する漁協職員の努力、漁獲後の処理を徹底する漁業者の取り組み、新保蔵技術の導入と量販店との直接取引の実現によって漁業経営は改善の途にあることを明らかにした。

はじめに

近年の科学技術の発達によって新たな保蔵技術が開発され、主要市場から遠く離れた離島においても鮮度を大きく損なうことなく出荷できるようになった。漁業者や漁協がこうした新技術を積極的に導入しながら、条件不利の緩和と漁業経営の改善を試みるケースが各地で見られるようになった。

本研究では、鹿児島県奄美漁協笠利地区の事例分析を通じて、高鮮度出荷による漁業経営改善の取り組みに果たす漁協の役割と課題について明らかにすることを目的とする。同地区では、4 名の漁協職員と漁業者の協力のもと、出荷魚の鮮度維持を目的に、締め方の工夫や脱血処理の徹底、ウルトラファインバブル技術 (UFB) の導入など新たな技術が導入されるとともに、島内外の販路開拓に力が注がれている。2020 年 12 月には、大日本水産会より「優良衛生品質管理市場・漁港」の認定を受け、更なる市場開拓を目指など、積極的な経営対応が行われている。

方法

奄美漁協笠利本所において、高鮮度化の取り組みを主導する漁協職員と漁業者を対象に、取り組みの背景とプロセス、効果と課題についてヒアリング調査を実施した。また、漁獲や出荷に関する統計資料を用いて、漁業経営への経済的効果についても分析を加えた。

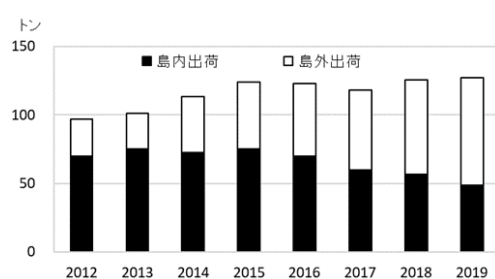
結果と考察

新たな保蔵技術の導入と沖縄県の量販店への相対取引の実施により、市況に左右されない安定的な漁業経営を実現できるようになった。取り組みをはじめた2013年と2019年を比較すると、漁獲量は約26%増加した。市場における需給バランスを考えると操業可能なこと、一定価格が故に兼業漁業者も積極的に操業するようになったことなどが寄与している。笠利地区の漁獲物を量販店が積極的に購入していることから、出荷先は大きく変化した。量販店との直接取引引きがはじまる直前の2013年は島内出荷74%、島外出荷26%であったが、2019年は島内出荷39%、島外出荷61%である。漁獲金額をみると、漁獲量の増加と平均単価の上昇（758円/kgから876円/kg、約16%）によって、2019年の漁獲金額は2013年に比べて約45%増加した。2019年の出荷をみると、沖縄が約49%を占めることから分かるように、量販店は奄美漁協笠利地区にとって重要な取引相手である。

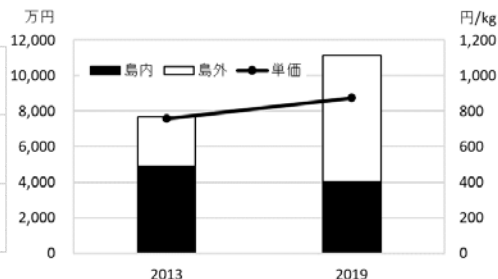
漁協職員によると、量販店や地元への相対取引へ参加する漁業者の漁獲金額は10%から50%ほど上昇した。経営が好調に推移するようになったことから、漁業への新規着業もみられるようになった。また、漁業者の仲間意識も高まっているという。かつては、早く出漁し、早く帰港して出荷すれば高値を狙えることから、漁業者同士はライバル関係にあった。しかし、現在はいつ出荷しても価格は同じであり競争がなくなったこと、漁獲後の処理や出荷などの作業を共同で実施するようになったことから、仲間意識が強まったという。こうした仲間意識は、UFB導入以降の品質向上のための諸活動のベースにもなっている。

本研究から得られた成果を他の島嶼域へ援用し、奄美群島全体の漁業経営振興を図ることを今後の研究課題のひとつにしたい。

<出荷量と出荷先の推移>



<出荷金額と単価の推移>



参考文献

鳥居享司. (2022) 離島漁業経営に果たす漁協の役割. 島嶼コミュニティ研究. 島嶼コミュニティ学会.